

| 和名                         | 分類     | 特徴ほか             | 会える場所        |                  |         |     |
|----------------------------|--------|------------------|--------------|------------------|---------|-----|
|                            |        |                  | ハイム<br>(中野島) | 多摩川土手<br>(中野島周辺) | 生田緑地    | その他 |
| スジグロシロチョウ                  | シロチョウ科 | 筋の入った<br>モンシロチョウ | ○            | ○                | ◎       | 全国  |
| 成虫発生時期 (月)                 |        |                  |              |                  |         |     |
| 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 |        |                  |              |                  |         |     |
| ○ 食草                       |        | 食樹               | 発生回数/年       |                  | 越冬形態    |     |
| アブラナ、オオアラセイトウほか            |        |                  | 4~5          |                  | 蛹 (さなぎ) |     |



川崎市 3月29日 (2008年) タチツボスミレで吸蜜 花にもぐる



川崎市 4月21日 (2019年) オオアラセイトウに飛来



長野県南佐久郡 7月27日 (2020年) オドリコソウに飛来



長野県松本市 梓川 7月19日 (2022年) クガイソウで吸蜜

モンシロチョウと食草もほぼ共通していて、ちょっと見ただけでは、なかなか判別しにくい場合もあります。

一般的には、モンシロチョウが農地・耕作地周辺に多いのに比べると、スジグロシロチョウは山間部、林縁部に多い傾向はありますが、どんどん市街地に進出していて、私たちの地域では既にモンシロチョウと混在しています。

スジグロシロチョウの市街地進出については、建設による結果として日陰ができるため、市街地が結果的に元の生息地である林縁部に近い環境を作り出しているからという説もあります。